

科目名 Course Name	ファッションデザイン演習 Fashion Design Seminar			ナンバリング No.	C1-010		
年次	1年	期別	前期	単位数	2	授業形態	演習
担当者氏名	阿部芳子						
連絡先(質問等)	非常勤講師室						
必修/選択	選択						
関連 DP	DP1、DP3						
授業の概要と 到達目標	衣服やバッグ、アクセサリーをデザインから計画し、パターン製作後デザイン別に完成物にする。デザインによる原型作図の応用と展開方法について実践を通して学び、応用作品につなげる。						
授業の方法	デザイン、製作品別に実践力の習得を図る。一連の流れを習得することで、デザインにあった設計法を選択し、応用することができる。適宜サンプル物の提示や、実技指導を実施、進める。						
学習成果	L01	人体と衣服との関係を理解し、造形的なデザインに展開することができる。					
	L02						
	L03	デザインにあった設計法を選択し、商品企画に展開できる。応用力をさらに広げ、アパレル商品企画やアート作品として位置づけられる。					
	L04						
課題に対する フィードバック	① テーマに沿った「デザイン・パターン作製、試作、補正、完成」までを、個人作品として行う。 ② 完成品は発表し、講評する。その際、デザインに沿った表現法などを共有する。						
教科書/ 参考図書	プリント配布 参考書:服飾造型講座 改訂版③ 文化出版局						
履修上の留意点 やルール等	●演習授業のため原則、遅刻・欠席を認めない。 ●材料費は自己負担とする。 ●作品製作後の展示やショーに向けては履修者と相談する。●事後学習の時間は各回 180 分。						
担当教員の実務 経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	遅刻、欠席、忘れ物などなく、進度に合わせた授業参加であったか評価する。	10			
レポート/作品	テーマに対し、適切な内容で、成果物は完成度の高いものとなっていたか。			60	
発表	作品はクオリティの高いものとなり、内容の濃い発表であったか評価。			30	
小テスト					
試験					
その他					
合 計		10		90	

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス、衣服デザインと製作、バックやアクセサリーの製作について
	事前・事後学習	デザインとパターン、素材、縫製技法が、完成品に影響することを学ぶ。
2	授業内容	テーマ設定、デザイン計画
	事前・事後学習	デザイン計画に基づき、材料選定、パターン、製作計画の立案をする。
3	授業内容	衣服づくりのための人体計測、原型、パターン製作
	事前・事後学習	衣服製作の基本となる人体計測を実施。各自の原型作図
4	授業内容	作品製作準備 パターンメイキング（立体裁断・平面裁断）
	事前・事後学習	シーチングによる立体裁断でパターン製作
5	授業内容	作品製作 ① パターン製作、修正
	事前・事後学習	確実なパターンに仕上げる心掛けが良い作品になることにつながる。
6	授業内容	作品製作 ② パターン完成、布の選定
	事前・事後学習	イメージと創造を連動させ、デザインプロセスを進める。
7	授業内容	作品製作 ③ サンプル製作、裁断、縫製
	事前・事後学習	丁寧な作業に心掛け、修正点はシーチング等で再検討する。
8	授業内容	作品製作 ④ サンプル完成、修正
	事前・事後学習	イメージに合った製作が進められているか、確認しながら進める。
9	授業内容	作品製作 ⑤ 実物裁断、縫製
	事前・事後学習	イメージどおりに、丁寧に製作が続行されている。
10	授業内容	作品製作 ⑥ 実物縫製
	事前・事後学習	丁寧で完成度の高い作品製作が進められている。
11	授業内容	作品製作 ⑦ 実物縫製
	事前・事後学習	重要な部分の製作は、慎重に進める。
12	授業内容	作品製作 ⑧ 実物作品のまとめ、仕上げアイロン、完成。
	事前・事後学習	人台等にフィッティングし、仕上りの確認。
13	授業内容	作品製作 衣装仕上げアイロン、発表準備。
	事前・事後学習	製作品の試着確認、仕上げアイロン、発表準備など。
14	授業内容	バック・ポーチ・アクセサリーの製作、衣装の仕上げ、まとめ。
	事前・事後学習	衣裳に合わせたバックやアクセサリー等の製作、まとめ。
15	授業内容	着装発表、成果物・ポートフォリオ提出。講評
	事前・事後学習	衣裳に合わせたコーディネートで着装発表。ポートフォリオの提出。まとめ。